

ごあいさつ



会長

森田 昇



理事長

平岡 浩房

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より青梅信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

当金庫は2022年3月6日、創立100周年を迎えることができました。

このような大きな節目を迎えることができましたのも、お客さまや地域の皆さまの変わらぬご理解と温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。創業の精神「共存同栄」「相互扶助」は、大正、昭和、平成、そして令和へと100年にわたり受け継がれてきた青梅信用金庫の成長の礎であります。創業の精神をあらためて胸に刻み、感謝の気持ちを忘れることなく、今まで以上に、地域の産業の発展と豊かな暮らしの実現に貢献できるよう、役職員一同邁進していく所存であります。

本年も、当金庫へのご理解を一層深めていただくために、「2022 Disclosure」を作成いたしました。当金庫の経営方針や業績、地域社会貢献活動への取り組みにつきましてご報告いたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2021年度の日本経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済活動が大きく制限され、依然として不安定な経済環境となりました。金融業界におきましては、長引くマイナス金利政策により収益性の低下が続くなか、停滞する地域経済の活性化のため、お取引先企業への資金繰り支援を迅速におこなうとともに、状況に応じた本業支援に取り組むことが重要課題とされた1年でした。

このような経済環境のもと、当金庫では、お取引先企業への資金繰り支援を最優先課題とし、様々な課題解決に努めた結果、貸出金残高は5,130億円(前年度比102億円増加)となりました。預金積金残高につきましては、創立100周年記念定期預金を多くのお客さまにご契約いただき、8,898億円(前年度比201億円増加)となりました。また、当期純利益2,680百万円を計上し、自己資本比率は11.07%と引き続き国内基準を適用する金融機関に求められている4%を大きく上回る水準を維持しております。これも偏に皆さま方の温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今後とも地域の皆さまに寄り添い、健全で安定した経営に努めてまいりますので、変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年7月

企業理念

わたしたちは、自然と文化に恵まれたこの地域とともにあって、
産業の発展と豊かな暮らしの実現に貢献します。

あおしんの役職員全員は、地域金融の担い手として、事業活動を展開するエリアと共生し、この地域で事業展開する中小企業の成長・発展とここに生活する人々が求める豊かな暮らしの実現を目指し、あおしんがお客さまに対してお役に立つことを宣言します。

経営方針

信頼

あおしんの経営は、何よりもお客さまの信頼を基盤にしており、それは、「この地域のお客さま」「ここに働く役職員」つまりあおしんを取り巻く人と人との関係を大切にすることであり、その基本となるコミュニケーションを大切にすることです。

中期経営計画

2021年度は、「地域の成長 輝く未来」をテーマとした新たな中期経営計画をスタートさせました。“経営支援によるお客さまの価値向上”という基本方針のもと、地域社会の発展やお客さまの豊かな暮らしの実現に努めてまいりました。

これからも“共存同栄”という創業の精神を胸に、皆さまのご期待に応えられるよう積極的に取り組んでまいります。

重点課題

1. 適切な金融サービスの提供
2. 強固な経営基盤の確立
3. 次世代に向けた人材育成と体制整備

計数目標

	3か年目標(2023年度末)	2021年度実績
自己資本比率	10%以上	11.07%
不良債権比率	3%台	3.60%
当期純利益	20億円	26億円

創立100周年記念事業
3～6

あおしんの
CSR(企業の社会的責任)活動
7～12

2021年度 業績のご報告
13～17

2021年度のトピックス
18

あおしんの
SDGsへの取り組み
19～20

あおしんが応援する
“美しい多摩川フォーラム”
21～22

会員の意見を反映する総代会
23～24

主な業務のご案内
25～30

コーポレート・ガバナンス
(企業統治)の状況
31

リスク管理とコンプライアンス
(法令等遵守)の態勢
32～34

店舗ネットワーク
35～38

組織及び役員
39

資料編/財務諸表
40～54

資料編/連結情報
55～59

資料編/自己資本の充実の状況
60～72

開示項目一覧
73

沿革
74

本誌は信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成したディスクロージャー資料です。本誌に記載の比率、金額は単位未満を切り捨てて表示しています。本誌には、将来の業績および財政状態に関する内容が記載されています。これらの記述は、当信用金庫を取り巻く経営環境などにより、異なる結果となることもあります。予めご承知おきください。